

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年7月31日

上場取引所 東

上場会社名 五洋インテックス株式会社

コード番号 7519 URL <http://www.govointex.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大脇 功嗣

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長

(氏名) 長縄 幹浩

TEL 0568-76-1050

四半期報告書提出予定日 平成25年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	316	16.2	△8	—	△14	—	△11	—
25年3月期第1四半期	272	26.1	△68	—	△85	—	△91	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 △15百万円 (—%) 25年3月期第1四半期 △88百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	△0.97	—
25年3月期第1四半期	△12.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第1四半期	1,184	515	43.5
25年3月期	1,204	438	36.3

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 515百万円 25年3月期 437百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	590	2.8	△30	—	△35	—	△40	—	△3.32
通期	1,330	1.3	40	—	30	—	15	—	1.24

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

26年3月期1Q	12,198,740 株	25年3月期	10,714,780 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

26年3月期1Q	1,650 株	25年3月期	1,650 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	11,889,379 株	25年3月期1Q	7,573,350 株
----------	--------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	3
4. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、依然として海外景気の下振れリスクは存在するものの、個人消費が持ち直してきており、景気は緩やかに回復しつつあります。当カーテン業界におきましては、カーテン市場に影響を及ぼします新設住宅着工総戸数は増加しており、今後も底堅い動きが期待されております。

このような状況の下、当社グループは営業面におきましては、景気回復に伴う需要の増加や平成24年9月に大幅改訂しました見本帳「インハウス」の販売により、売上高は大幅な増加となりました。

利益面におきましては、営業外費用として新株予約権の行使による株式交付費が発生したものの、業務の効率化を実行し経費を削減したことで、損失は大幅に縮小いたしました。

以上の結果、売上高は前年同四半期比16.2%増の316百万円、営業損失は8百万円（前年同四半期は68百万円の営業損失）、経常損失は14百万円（前年同四半期は85百万円の経常損失）、四半期純損失は11百万円（前年同四半期は91百万円の四半期純損失）となりました。

第2四半期以降におきましては、引き続き見本帳「インハウス」による販売強化、市場性の高い新規商品の開発等により、売上高の増加を図ってまいります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ0百万円増加して657百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が93百万円減少したものの、現金及び預金が83百万円増加、商品及び製品が8百万円増加したことなどによります。固定資産は、20百万円減少して527百万円となりました。これは、投資有価証券が15百万円減少、建物及び構築物（純額）が3百万円減少したことなどによります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、1,184百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ65百万円減少して499百万円となりました。これは、短期借入金が28百万円減少、支払手形及び買掛金が16百万円減少、未払法人税等が7百万円減少したことなどによります。固定負債は、31百万円減少して169百万円となりました。これは、長期借入金が17百万円減少、退職給付引当金が12百万円減少したことなどによります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ96百万円減少し、669百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ76百万円増加して515百万円となりました。これは、四半期純損失が11百万円となったものの、新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ46百万円増加したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月9日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想につきましては、現在のところ数値に変更はありません。今後、変更が生じる場合はすみやかに開示いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

当社グループは、前連結会計年度までの8連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においても重要な営業損失を計上いたしました。

これにより、当社グループには、将来にわたって事業活動を継続するとの前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況その他会社の経営に重要な影響を及ぼす事象（重要事象）が存在しております。

当該重要事象等を解消し、又は改善するための対応策について当社グループは、平成24年9月に大幅改訂いたしました見本帳「インハウス」及び採光機能カーテン「エコフィックス」による販売強化を行うとともに、市場性の高い新規商品の開発や環境商材の販売にも注力し、売上高の増加に努めてまいります。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	124,311	207,398
受取手形及び売掛金	286,682	193,260
商品及び製品	221,227	230,025
原材料及び貯蔵品	21,226	21,068
その他	9,430	9,818
貸倒引当金	△6,135	△3,978
流動資産合計	656,742	657,594
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	176,850	173,054
機械装置及び運搬具(純額)	0	0
土地	289,500	289,500
その他(純額)	3,957	2,985
有形固定資産合計	470,307	465,540
無形固定資産		
商標権	276	268
ソフトウェア	765	639
無形固定資産合計	1,042	907
投資その他の資産		
投資有価証券	39,227	23,865
差入保証金	33,971	33,702
その他	26,323	26,659
貸倒引当金	△23,081	△23,563
投資その他の資産合計	76,440	60,663
固定資産合計	547,790	527,112
資産合計	1,204,533	1,184,706

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	140,679	124,025
短期借入金	299,754	271,000
1年内返済予定の長期借入金	66,192	59,472
未払法人税等	10,621	3,563
未払消費税等	4,654	4,212
その他	43,130	37,229
流動負債合計	565,032	499,503
固定負債		
長期借入金	151,300	134,272
繰延税金負債	3,618	2,145
退職給付引当金	33,767	21,227
役員退職慰労引当金	5,324	5,324
資産除去債務	6,880	6,887
固定負債合計	200,890	169,855
負債合計	765,922	669,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	874,048	920,476
資本剰余金	187,344	233,773
利益剰余金	△634,034	△645,552
自己株式	△264	△264
株主資本合計	427,094	508,432
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,443	6,692
その他の包括利益累計額合計	10,443	6,692
新株予約権	1,073	222
純資産合計	438,611	515,346
負債純資産合計	1,204,533	1,184,706

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位: 千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
売上高	272,075	316,183
売上原価	141,320	160,347
売上総利益	130,755	155,835
販売費及び一般管理費		
給料及び手当	74,471	63,960
退職給付費用	1,834	3,298
業務委託費	12,109	9,491
賃借料	15,199	15,542
減価償却費	5,800	4,908
貸倒引当金繰入額	2,383	6
その他	87,377	67,409
販売費及び一般管理費合計	199,176	164,617
営業損失(△)	△68,421	△8,781
営業外収益		
為替差益	1,557	—
貸倒引当金戻入額	—	1,682
その他	1,662	1,781
営業外収益合計	3,220	3,464
営業外費用		
支払利息	2,030	2,085
売上割引	73	69
為替差損	—	642
支払手数料	2,000	—
株式交付費	—	5,231
社債発行費	15,358	—
その他	503	937
営業外費用合計	19,965	8,966
経常損失(△)	△85,167	△14,283
特別利益		
投資有価証券売却益	—	8,332
特別利益合計	—	8,332
特別損失		
投資有価証券評価損	3,572	—
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	3,572	0
税金等調整前四半期純損失(△)	△88,739	△5,951
法人税、住民税及び事業税	2,296	5,567
法人税等合計	2,296	5,567
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,035	△11,518
四半期純損失(△)	△91,035	△11,518

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△91,035	△11,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,734	△3,751
その他の包括利益合計	2,734	△3,751
四半期包括利益	△88,301	△15,270
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△88,301	△15,270

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当社グループは、前連結会計年度までの8連結会計年度に引き続き、当第1四半期連結累計期間においても重要な営業損失を計上いたしました。

これにより、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

当社グループは、当該状況を解消するため既存のカーテン事業におきましては、平成24年9月に大幅改訂しました見本帳「インハウス」の販売強化を図るとともに、市場性の高い新規商品を開発し販売してまいります。

また、環境事業におきましても新規商材の採光機能カーテン「エコフィックス」を中心に売上高増加に努めるとともに、新たな環境商材の販売にも注力してまいります。

しかしながら、こうした取り組みは実施途上であり、現時点では継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められます。

なお、四半期連結財務諸表は継続企業を前提として作成しており、継続企業の前提に関する重要な不確実性の影響を四半期連結財務諸表には反映しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

当社は、平成24年5月28日開催の取締役決議により、平成24年6月29日付で、第1回新株予約権を発行いたしました。

これに伴う新株予約権の行使により、資本金及び資本準備金がそれぞれ46,428千円増加し、当第1四半期連結会計期間末において資本金が920,476千円、資本剰余金が233,773千円となっております。